

#### 4. 平成11年度事業実施計画

対象種名	技術開発項目	設定課題	調査・試験方法
ヤコウガイ	種苗生産技術	種苗生産試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殻高7mmの稚貝10万個を生産するとともに、殻高1mmに達したら、ロングトータルによる施肥を実施し、成長と生産量の推移を比較試験する。</li> </ul>
	中間育成技術	昼間採卵試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親貝を暗処理、光周期を徐々に変化させ、昼間採卵を実施する。</li> </ul>
		中間育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成10年度生産稚貝の中間育成を実施し、殻高25mmの稚貝2万個体を生産する。</li> </ul>
		餌料培養試験 1. フロリダ原産オゴノリ 2. クビレオゴノリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植え継ぎ量別の培養試験を実施し、適正な植え継ぎ量や頻度を把握する。</li> </ul>
	放流技術	保存試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盤状体のロープ採苗を実施し、沈殿池内での垂下飼育試験を行う。</li> </ul>
		加温試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・餌料価値が明らかなクビレオゴノリ、モサオゴノリを用いて、冷凍保存試験を実施する。</li> </ul>
		種苗放流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加温飼育によるへい死防除効果を明らかにする。</li> </ul>
		資源量調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殻高25～30mmの種苗を標識し、白保、竹富海域の礁斜面に分散放流する。</li> </ul>
	放流技術	資源量調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーターセン法等により放流場所の資源量を推定する。</li> </ul>
		漁獲物調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者に操業記録を依頼し、放流を行った漁場の資源量の変動を調べる。</li> <li>・漁獲されたヤコウガイの殻の頂部を研磨し、標識の有無を確認することにより、放流貝の混獲状況について調べる。</li> </ul>

<p>ヤコウガイの資源管理</p>	<p>資源管理</p>	<p>標識脱落率試験 漁業実態調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 標識した様々なサイズのヤコウガイを継続飼育することにより標識の脱落率を調べる。</li> <li>• 八重山地区におけるヤコウガイの漁獲量、漁獲高及び漁場の調査により、漁業実態の把握と資源保護の啓蒙を行う。</li> </ul>
-------------------	-------------	---------------------------	---